人们高路计术一夕一的会会教

N o 74 2019 年 11 月発行 大町病院サポーターの会 発行責任者降簱剛

剪定・草取り作業終わる

ペチュニュアのプランターも片づける



10月6日(日)午前8時から9時15分まで時間を決めて、大町病院の庭木の剪定と花壇の草取り作業を行いました。また市民や患者の目を楽しませてきた玄関ロータリーに設置してあるプランターも片付け、冬に向かっての準備をしました。早朝にもかかわらず遠方の井上善博院長先生、太田久彦副院長先生も参加いただき29人による大勢での大勢での作業となりました。

心配された雨もなく涼しい中で南棟さくら入り口の花壇、桜並木の東・信州花フェスタ記念花 壇の草とりに汗を流しました。

剪定はこれまで手が届かなかった玄関西側の金木犀、ハナミズキの伸びた枝と峯止めの大掛かりな作業となりました。購入した2台の三脚をフルに使い高木を手際よく切り詰めました。

これにより病院玄関周辺の環境はすっかりきれいになりました。ハサミや剪定ばさみといった 道具は個人で持ち寄りましたが、順次そろえていく予定です。

力を合わせてプランター撤去作業



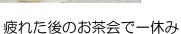
脚立を使って剪定作業

南棟入り口花壇の草取り



信州花フェスタ記念花壇草取り







草取り・剪定作業に参加された皆さん(受付をされた皆さん:敬称略)

松澤絹枝 西澤千文 中村薫 海川明文 降旗剛 若林茂男 黒岩良介 小林千恵子 渋田見博 内山博 西牧敏郎 相澤文人 鳥羽嘉明 牧瀬明美 川村いずみ 清水あさひ 清水 香代子 井出好美 木村円 武田浩美 降旗菜穂子 太田久彦 井上善博 髙橋博久 ほか

がった祭りに合わせてきのこ狩り 紅葉し始めた散策とおもてなしを楽しむ



10月6日(日)大黒町町有林で「がった祭り」が開催され、今年もそれに合わせてサポーターの会主催のきのこ狩りを開催しました。今年は雨が少なくキノコは少ししか出ていない状況でしたが、貴重なキノコを、判定の専門家飯島八郎さん(県きのこ衛生指導員)をお願いし判定していただきました。初めてのキノコ採りに挑戦された薮谷亨先生(消化器内科)は袋にたくさんのキノコを採取されましたがアミタケとくぎ茸が食べられるキノコでした。

きのこ狩りの後はがった祭りに加わり、串刺しニジマスの塩焼き、焼きおにぎり、焼き立てパン、豚汁、卵やウインナーの燻製等お腹いっぱいおもてなしを受けました。トランポリン、木登りブランコ、スラックライン等の遊び、マイ箸づくり、笛づくり、黒板づくり丸太切りなどの工作で子ども達も大喜びでした。



がった祭り準備に役員5人が汗流す

がった祭りを1週間後に控えた9月28日(土)朝8時30分より大黒町町有林で、駐車場や遊び場などの下草刈りをがった祭り実行委員会の皆さんとともに行いました。サポーターの会からは5人の役員が参加し、約1時間30分ほど草刈機で汗を流しました。会場周辺は見違えるほど見事に整備されました。参加したのは降籏剛会長、中島、大日向、内山、高橋の各役員の皆さんでした。



きのこ汁をどうぞ・・・医局へ差し入れ

サポーターの会は、10月21日(月)お昼に大鍋にきのこ汁を作りお腹のあたたまる差し入れを しました。

食材は舞茸、なめこ、エリンギ、しいたけ、ぶなしめじ、えのき茸のきのこ 6 種類と、野菜として里芋、人参、大根、ネギ。野菜は会員の畑から採れたてのものをいただき使用しました。味付けは会員手作りの自家用二年味噌を使い上品に、甘みのある仕上がりとなりました。昼食に間に合うように正午前にできたてのきのこ汁を届けました。先生方の昼食は不規則で、とったりとらなかったり、あるいはカップラーメンで過ごすこともあり、健康には心配があります。

先生方からは「美味しかった。おかわりをして食べました。」とお褒めの言葉をいただきました。 次回は何にしようかなと思案中です。乞うご期待!

信州大学医学実習生送別会開催される

10月23日、午後7時から市内にて、夕食会を兼ねた信州大学医学実習生4人の送別会を開きました。9月、10月の二月にわたり大町病院での研修を終わり、信州大学へ戻る、荒井さん、市川さん、犬塚さん、古野さんの四人です。夕食会は食事を取りながら、それぞれの自己紹介と研修を受けての感想、気づいた点、自己の今後の方向などを語られました。

会は仕事が終わる午後7時30分からと設定しましたが、高木哲先生、金子一明先生の仕事が7時に終わり早まりましたが、他の先生が遅れて参加することもあって、先生方はじめ医療スタッフの皆さんの勤務は大変であることがあらためてわかりました。参加された皆さんは高木先生、金子先生、實近先生、総合診療専攻医の菊地先生、西川先生と畔上研修医、会役員の高橋の11人でした。同席したサポーターの会の役員からは、「ぜひ長野県に残って大町病院へお越しいただきたい。風光明媚で隠れた名所がたくさんあり、中学・高校と学校での集団登山もあり、仕事で登

山ができ、多いときはシーズン中に二回あることもある。趣味と実益が叶います。(笑い) いつでもおいでください。連絡をいただければいつでもご案内します」。と会の名刺を渡しました。 ダムカレーはじめ出された料理に舌鼓をうち、おしゃべりも楽しみました。将来きっと大町へ帰ってきてくれると確信しました。

以下自己紹介、研修の感想、将来への考え等です。

荒井研人さん:信大五年生。東京都出身、国学院久我山高校卒。山岳部に所属していた。感想は「優しく教えていただいた。当直もやらせていただき良い経験となった。卒業後は長野県に残って医療に携わりたい。ありがとうございました。」

市川**喜理さん**:上田市出身。佐久長聖高校卒。「四週間世話になりました。眼科志望で研修しました。将来は開業医をめざし、白内障の専門医を目指したい。内科は総合診療科的で幅広く学べた。

犬塚久総さん: 愛知県出身。西尾高校卒。趣味は馬術。「外来を診て考える積み重ねができて良かった。地域医療で小谷村へ行ってきました。将来内科系を目指す。卒業後は長野県に残ります。」 **古野航多さん**: 愛知県出身。山岳部に所属していた。

「一週間お世話になりました。」



イルミネーションの樅の木剪定・十日会の皆さんが



10月20日、十日会の皆さんによりイルミネーシ ョン器具の点検と、設置する樅の木の枝を剪定し ました。

もみの木を本格的に選定するのは 4 年ぶりにな ります。作業に当たられた皆さんありがとうござ いました。

市民が大きな期待、サポーター拡大

9月からサポーターの会は自立し、活動をさらに広げるため、役員が班を編成し、二人一組で会 員の拡大に歩きました。その中間集約ができましたのでお伝えします。

新規加入者は46人、団体会員は25団体です。地域で役職についている方や、有力な企業、商店、 事業所の皆さんに快く加入をしていただきました。会員拡大はさらに進めてまいりますので紹介 をお願いします。大町病院の重要性を改めて認識する取り組みとなりました。

期間中に加入された皆さん紹介 (敬称略、順不同)

個人47人(合計376人) 高木教男 吉田秀樹 望月昌子 小松公代 丸山典生 遠藤幸廣 宮崎栄介 黒田幸雄 太田 光春 降籏寛次 村山哲郎 飯嶌永子 渡邉徳久 仁科光晴 高橋功 平林みえ 関一雄 高橋鴻生 相川たか子 小池 秀典 篠崎弥生 仁科馨 松下吉邦 伝刀昭一 降旗正 上田智夫 降簱興平 北沢豊繁 南澤靖 竹村梅次郎 松 下俊行 小浪和正 北沢久男 宮田一男 松井一美 中島喜一 牛越光夫 平林操 降旗初美 竹村信吉 小林英樹 浅野貢一 浅野久美子 平林誠 佐藤彰子 田尻正勝 北澤伸夫

団体 25(合計 68 団体)

(株)相模組 大町市スケートクラブ 예五十嵐木材 ㈱伊藤金物商会 예長野クリーンサービス 長野県労働金庫大 町支店 (有) 斎藤自動車 あおぞら法律事務所 (有)田中屋 北アルプス総合設備(株) (有)小柳建設 大町石産(株) (株)井 内工務店 (有宮澤自動車) 日特工業 (㈱富士電機パワーセミコンダクター大町工場) 一般社大北歯科医師会 アズ サイエンス株式会社 岡谷酸素株式会社 吉原商店 明野施行 (㈱ピュアハウス (株)島崎組 松葉鮨(有) 信光実業 ㈱大町支店

気になる 424 の病院の統廃合を発表 国も認めた市立大町総合病院は大切存続

厚生労働省は9月26日、全国1455の公立病院や日赤などの公的病院のうち、競合地域に ある病院との再編・統合の議論が必要―とする424の病院名を初めて公表した。県内では44 の公立・公的病院のうち15病院(分院含む)が公表の対象となった。同省は2017年度のデ ータを基に、がん、脳卒中などの診療実績や競合する病院の有無を分析して判断したとしており、 18年度に統合した松本市内の2病院も含まれている。

同省は10月にも、本格的に議論し来年9月までに結論を出すよう都道府県を通じて対象病院に

要請する。強制力はないとしているが、身 近な病院がなくなる可能性への不安から 自治体や住民の反発は必至だ。

厚労省は17年度のデータを基に、公立 や公的病院のうち、重症患者向けの「高度 急性期」、一般的な手術をする「急性期」 に対応できる1455病院を調査。がんや 救急医療といった9項目の診療実績と、競 合する病院が「車で20分以内」の場所に ないかを分析し、病院名公表の必要性を判 断した。現時点でまとまっている全国デー タは17年度が最新とする。対象となる病



院には、廃止や一部の診療科を他の病院に移すことなどを検討してもらうという。

県内では18年5月に統合した国立病院機構まつもと医療センター松本病院(松本市)と同センター中信松本病院(同)も公表対象に含まれた。厚労省は「統合効果の再検証を求める」とした。 医療費は団塊世代全員が75歳以上となる25年に急増する。厚労省は全国で124万6千床(18年)ある病院のベッド数を119万1千床まで減らす目標を掲げる。現在は看護師を手厚く配置し医療費がかかる「高度急性期」や「急性期」のベッド数が多い一方、高齢者にニーズの高いリハビリ向けは不足している。

病院の再編・統合を巡っては各都道府県が25年に必要なベッド数などを定めた「地域医療構想」を策定。地域ごとに自治体や医療関係者らが協議しているが、地元住民や首長の多くは慎重姿勢を維持しており、議論は難航している。(信毎9月26日朝刊より)

医療や健康、地域を守るためには病院は必要で、話し合い無しでの計画は困るのは住民です。

困った事に安倍首相は病院再編推進に意欲

政府は9月28日、経済財政諮問会議を開き、高齢化の進展に伴う社会保障制度のあり方について議論した。安倍首相は「持続可能で安心できる地域医療・介護体制を構築するためには、地域医療構想を実現することが不可欠だ。」と述べ病院の再編統合などを促す構想の推進に意欲を示した。この日の会議では、民間議員からも「病床再編については公立・公的病院を手始めに、官民ともに着実にすすめるべきだ。」と地域医療構想を後押しする意見が出た。民間病院に関しては病床が過剰な地域の再編に関する分析を厚生労働省が 2019 年度中に示すべきだと提起した。今後 3年間を集中期間とし再編対象の民間病院に積極的な財政支援作を施すように求めた。民間議員はこれ以外にも 40 代と 50 代の生活習慣病予防のため健康診断受診率の向上を促したほか介護現場の生産性を高めるために介護ロボットへの投資加速も要請した。地域医療構想を巡っては厚労省が9月に再編し議論が必要とした長野県内 15 を含む全国 424 の公立・公的病院名を公表。対象となった 15 を含む全国 424 の公立・公的病院名を公表。対象となった医療関係者や地元自治体から「実情を踏まえていない。」などと反発が出ている。(信毎 9/29 日朝刊より)

国は国民の幸せを前提に行政を進めるべきと思うのですが・・・・・

市民・会員の皆さんへお知らせ

イルミネーション点灯は12月5日17時30分から

引き続きコンサートを講堂さくらで、皆さんご参加を

イルミネーョンふれあいコンサートプログラム入場無料

- ① :ハンドベル
 - •we wish you a merry Xmas
 - ・パブリカ

奏者:病院ハンドベル隊(女性検査技師)

- ② : ライアー
 - ・静かな夜(ドイツ民謡)・きらきら星(フランス民謡)・星に願いを(リー・ハーライン作)
 - ・きよしこの夜 (グルーバー作) 奏者:山本美惠子と福島頼子
- ③ : コラボ

・曲目: Over the rainbow 奏者: 金子一明 Dr と菊地祥子 Dr

④ : サックス

・曲目:お楽しみ・奏者:遠藤幸廣

⑤ピアノ連弾

On y va!(オニヴァ) ルフレール作奏者: 小林美恵と奥原直美



会費納入、新規加入ありがとうございました。(順不同・敬称略)

会費納入者 小池秀典 川上佐貴子 田中秀司 遠藤照子 川上せつ子 北澤孝一 宮脇哲子 荒井閑子 平林延彦 松本光代 和田由美子

★新規入会者紹介 個人会員加入者 関一雄 高橋鴻生 相川たか子 篠崎弥生 仁科馨 松下吉邦 伝刀昭一 降旗正 上田智夫 降簱 興平 北沢豊繁 南澤 靖 竹村梅次郎 松下俊行 小浪和正 北沢久男 宮田一男 松井一美 中島喜一 牛越光夫 平林操 降旗初美 竹村信吉 竹村信吉 平林誠 小林英樹 浅野貢一 浅野久美子 佐藤彰子 田尻正 北澤伸夫

団体会員加入者 岡谷酸素株 日特工業(株) 明野施行 ピュアハウス 吉原商店 アズサイエンス(株) 島崎組(株) 松葉鮨(有) 信光実業(株)大町支店